

## 高次脳機能障害セミナー —実務編—

平成 27 年 12 月 5 日 (土)、本厚木のアミュ  
ーあつぎにて「高次脳機能障害セミナー実務編」  
が開催されました(写真1)。今回のセミナーでは、  
医師や各リハスタッフが、病院入院から外来に至  
る経過の中で、高次脳機能障がいをお持ちの方に  
実践しているリハビリテーションを紹介し、リハ  
スタッフそれぞれの視点で支援のポイントを説明  
する事で、参加者の支援のヒントとして頂く事を  
目的としました。職能科からは、生活や作業の中  
で、「理解されにくい、理解しにくい障害」である



写真1 実務編講義

高次脳機能障がいの影響と支援方法をご紹介いたしました。障害認識のアプローチにおいて、達成感を持ちながらポジティブフィードバックでのステップアップを心掛けて、「気づき」に繋げていく方法や、障害の影響やニーズに合わせて環境調整をし、個々の「強み」を生かせるように支援をコーディネートしていく方法など、支援導入当初に行う支援方法を中心にお話しさせて頂きました。各リハスタッフからもアプローチ方法として、オーダーメイドの支援計画や個々の「強み」を生かす話題が多く挙がり、モチベーションを維持・向上を図りながらリハビリテーション効果を上げていこうという支援者の思いが込められた内容であったように思います。参加者からは医学的リハの段階からどのようにアプローチをしているのか具体的に知ることができ、支援の参考になったという声を多くいただきました。今後の支援のヒントにしていただけるのではないかと感じています。(山本 和夫)

## 高次脳機能障害セミナー —就労支援編—



写真2 就労支援編グループワーク

平成 28 年 1 月 30 日(土)、藤沢商工会館ミナ  
パークにて「高次脳機能障害セミナー就労支援編」  
が開催されました(写真2)。今年度は藤沢市を中  
心とした湘南東部地域での開催となり、地元地域  
の支援機関の方を中心に 42 名のご参加を頂きま  
した。今回セミナーを開催した藤沢市は、高次脳  
機能障がいを持つ方の専門相談を実施している藤  
沢市高次脳機能障がい者相談支援事業所「チャレ  
ンジⅡ」を中心に支援ネットワークの構築がすす

んでいる地域です。そのような地域特性もあり、例年にも増して地元の医療・福祉【→裏面へ】

機関から参加される方が多い状況でした。今回のセミナーでは、当事者の方にも講師として登壇頂き、ご自身の就労にまつわる体験談を語って頂きました。セミナーに参加された方々からは、「当事者の貴重な体験を聞くことができ、今後の支援を考える上でとても参考になった」といった意見を多数頂き、大変好評でした。今後もこのような企画を考えていきたいと思っております。

今回の協力機関と講師は次の方々でした。

藤沢市高次脳機能障がい者相談支援事業所チャレンジⅡ 山田 大悟氏

湘南地域就労援助センター 小川 菜江子氏

神奈川県障害者就労相談センター 佐藤 守氏

神奈川県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科医師 青木重陽

高次脳機能障害支援室 瀧澤学 佐藤 健太

職能科 今野 政美 山本和夫 小林國明 植西佑香里 安藤優美子でした。（小林 國明）

## 「失語症交流会」のご紹介

失語症は、脳の血管障害やけがの後遺症として発症します。「聴く」「話す」「読む」「書く」ことなどが苦手となりますが、症状や程度は千差万別に現れます。言語による意思の疎通の障害と、手足の不自由が加わる方も多く見受けられます。このような障害を負うと、社会生活や職業生活のなかで、対人交流場面への困難さにより孤立しがちとなり、孤独感を感じられ、社会参加への影響が出ることも多く、大きな壁となっています。

職能科の利用者の中にも、失語症の方がいらっしゃいます。ある外来患者さんからの「みんな、失語症がどのように回復してるんだろう？」という発言をきっかけとして、平成27年1月から職能科の集団プログラムとして「失語症交流会」を立ち上げました。実施に当たっての目的は、参加者間の交流や情報交換などの相互作用（ピアサポート）を通して、失語症への理解とコミュニケーション能力の向上を図り、失語症患者が新規就労・復職・社会参加することとしております。参加者は、当院のリハ科医師より職能科の処方が出されている外来患者さんで、ご本人の参加希望を踏まえて主治医が決定いたします。毎回、7～8名が参加されております。頻度は月2回（各週）、1回につき40分をプログラムの時間とし、その後参加メンバー間のフリートーキングの時間をとっています。内容は、①近況の生活の中で「取り組んだこと」「困ったこと」などの報告、②皆で話し合いたいこと、などの座談会や、近隣施設の見学やレストランでの食事会等の外出企画を行なっています。進行は職員が行ないますが、書記は参加者に担当していただいております。先日の会では日常生活のコミュニケーション場面等でのスマートフォン活用について、代償手段に関する情報交換を行い、大いに盛り上がり、参加者間の仲間意識、連帯感が高まった様子が窺えました。

これからも、就労や社会参加への一助となるプログラムとして継続し、さらに今後は失語症友の会などの当事者団体との交流やネットワーク構築を図りたいと思っております。（松元 健）

平成27年度就労支援の実績		就職・復職者の人数	
職場内リハビリテーション実施人数	2015年4月～2016年1月の累計 18名	2015年4月～ 2016年1月の累計 新規就労	11名
		復職	34名

※今年度をもって、七沢学園就労移行支援事業は終了となります。